

I 令和3年度 事業の概要（総括）

令和3年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、緊急事態宣言が発令され深刻な経済停滞に陥った。一方、ワクチン接種の進展に伴い、世界の経済活動が活発化する中で昨年後半から原油価格が上昇し、年明け後はロシアのウクライナ侵攻に伴った需要の高まり・輸入資源の供給不足・サプライチェーンの混乱や円安の高水準化なども相まって、かつて経験したことのない燃料価格高騰の緊急事態が続いている。

国内経済はもとより、我々運送事業者の経営も大きな影響を受ける中で、全ト協は緊急的に12月に「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」を挙行し業界の窮状を訴えたこと等により、国は原油価格高騰の緊急対策として、石油元売りに対する支給上限の拡充（5円から25円）や、荷主企業等に対し燃料価格上昇分の適正運賃への反映周知及び不当な運賃据え置き等への是正措置が講じられたが、トリガー条項の凍結解除には至らず燃油価格も高止まりで推移している。

運送業界のこの1年を振り返ると、働き方改革の進展や少子高齢化に伴う労働人口の減少によるドライバー不足の加速化、更に令和6年度からの罰則付きで適用される時間外労働の上限規制への対応など、待ったなしの課題が山積しており、持続的な事業経営の環境づくりが求められている。

こうした状況等を踏まえ、当協会の令和3年度の事業活動はコロナ禍の影響を受け、一部事業を中止したが、新型コロナ対策に万全を期し、会議・セミナー等の規模縮小やWEB開催、協会広報誌やホームページ、一斉FAX等による会員事業者のニーズの高いタイムリーな情報等の提供、更には各種メディア等を活用した広報活動の強化とともに、全ト協や県ト協の各種助成金を駆使しながら役職員一丸となって、会員事業所の経営改善・課題解決に向けた各種事業の推進に努めた。

まず、1点目の「交通安全・事故防止対策」では、安全で安心な輸送サービスの提供を最優先課題として取り組んだ。具体的には、春・秋の全国交通安全運動や飲酒運転根絶運動、過積載絶滅運動等におけるパトロールや啓発活動等の強化、ドラコンの再開及び安全運転研修による安全意識や運転技術の向上、更には無事故・無違反をグループで競う「交通事故防止コンクール」では1,048チームが参加し、達成率約9割の好成績を収めた。

2点目の「労働力不足対策」では、長時間労働や低賃金など労働条件の改善及びドライバー不足の解消を図り、持続的で安定した輸送力を確保するために告示された「標準的な運賃」において、宮崎運輸支局と連携して荷主・関係団体への要請活動を行うとともに、会員事業所の届出件数も本県は92%に達し、運賃の適正収受に向けた更なる機運醸成の強化が必要となってきている。

3点目の「適正化事業」では、巡回指導や部会活動等で機会ある毎に法令遵守の徹底に取り組んできた結果、Gマーク事業所認定率が全国初の5割超えを達成し、2年連続の日本一の座を維持でき、当協会が最重要課題として掲げる「安全第一」の意識向上と輸送秩序の確立に繋がった。

4点目の業界の課題解決に向けた要請活動では、全ト協や九ト協などと連携しながら、国や県選出国會議員に対し、燃油高騰対策をはじめトラック関係の税制改正・予算要望等を行うとともに、県議会や県に対し令和4年度予算や新型コロナ対策などの県政要望を積極的に展開した。

その他、協会活動の成果として、シトラスリボンプロジェクト活動の功績により宮崎県人権啓発推進協議会から「人権が尊重される社会推進づくり推進賞」を、永年の献血活動に対し日本赤十字宮崎県支部から県北支部へ感謝状が授与されるなど、交通遺児への義援金贈呈等も併せて、社会貢献活動等が広く認知されるようになった。以下、詳細について事業報告する。

II 令和3年度 事業報告

1 協会の概況

(1) 設立年月日

昭和23年1月8日

(2) 定款に定める目的

本協会は、貨物自動車運送事業の適正な運営及び公正な競争を確保することによって事業の健全な発達を促進し、もって公共の福祉に寄与するとともに、事業の社会的、経済的地位の向上及び会員相互の連絡協調と緊密化を図ることを目的とする。

(3) 定款に定める事業

- ① 貨物自動車運送事業に係る交通安全、環境保全及び労働災害に関する事業
- ② 緊急救援物資の輸送及び災害対策支援事業に関する事業
- ③ 輸送サービスの改善に関する事業
- ④ 貨物自動車運送事業に関する調査、研究、統計に関する事業
- ⑤ 貨物自動車運送事業の近代化、合理化のための事業
- ⑥ 貨物自動車運送事業の近代化、合理化のための事業を行う貨物自動車運送事業者の全国団体に対する出捐
- ⑦ 法令及び税制に関する調査、研究
- ⑧ 行政庁の行う貨物自動車運送事業法その他の法令の施行の措置に対する協力
- ⑨ 貨物自動車運送事業の社会的、経済的地位の向上に寄与する施策と宣伝啓発
- ⑩ 貨物自動車運送事業法に基づく地方貨物自動車運送適正化事業
- ⑪ 会員相互の連絡協調を図る施策
- ⑫ その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

(4) 会員の状況

① 会員数 463社 (令和4年3月31日現在)

② 会員の異動

◇ 入会 13社

	会社名	代表者名	住所
1	トランス宝島(株)	道口 裕一	都城市菓子野町11731番1
2	東栄建設(株)	小野 陽平	延岡市新浜町1丁目8935番地83
3	(株)三友ロジスティクス	寺崎 秀嗣	国富町大字木脇3573-3
4	(株)ビッグハウス	立箱 尚登	高原町大字広原字荒迫4881-18
5	(株)池田運送	池田 道幸	都城市太郎坊町1653-1
6	(株)ADVANCE	岩本 寛和	宮崎市清武町木原字北ノ原3211-1
7	(株)幸勝ライン	有山 幸治	高岡町浦之名3310番地3
8	(株)大日興業	黒木 祐介	日向市東郷町山陰辛589番地1
9	ロジコン(株)都城営業所	梅崎 廣信	都城市都北町4846
10	(株)ファス	木下 太一郎	小林市真方1070-3
11	合同会社ナオミ運送	黒木 直	都農町大字川北18861番地102
12	信行トランスポーター(株)	牧 尚彦	宮崎市田野町甲6008番地6 あいらんど田野A棟205号
13	九州栄孝エキスプレス(株) 宮崎営業所	中野 俊雄	宮崎市大字熊野450-2

◇ 脱会 8社

(5) 役員に関する事項

① 異動状況

区 分	当 初	就 任	辞 任	期 末
常勤役員	2	1	1	2
非常勤役員	17	3	3	17
監 事	2	0	0	2
合 計	21	4	4	21

② 役員名簿

(令和4年3月31日現在)

役 職 名	会 社 名	氏 名	備 考
会 長	(株)マキタ運輸 代表取締役	牧田 信良	陸災防理事
副 会 長	(株)高鍋運送 代表取締役	増田 哲	中央北支部長 陸災防副支部長
〃	(有)荒木運輸 代表取締役	荒木 久次	中央南支部長 陸災防理事
〃	(株)トミシマ 代表取締役	和田 憲明	県北支部長 陸災防理事
〃	元明運送(有) 代表取締役	元明 吉美	都城支部長 陸災防支部長
専務理事	(一社)宮崎県トラック協会	野中 秋芳	陸災防理事
常務理事	(一社)宮崎県トラック協会	大久津 浩	㊦
理 事	日本通運(株)宮崎支店 支店長	松尾 美津彦	㊦ 中央北支部副支部長
〃	(有)六車運輸 代表取締役	六車 堅治	
〃	日豊輸送(株) 代表取締役	高石 淳一	
〃	宮崎運輸(株) 代表取締役	藤元 昭太	
〃	(有)コア物流 代表取締役会長	仁田脇 義雄	
〃	(株)古川興業 代表取締役	古川 義信	中央南支部副支部長
〃	八興運輸(株) 代表取締役	三輪 亮介	県北支部副支部長
〃	センコー(株)東九州車輛支店 支店長	椎原 真也	県北支部副支部長
〃	日向運輸(株) 代表取締役	松本 公一	
〃	草水運送(株) 代表取締役	草水 裕之	㊦ 都城支部副支部長
〃	(有)森山運送 取締役社長	森山 数也	㊦ 都城支部副支部長
〃	(株)霧島商事 代表取締役	竹之内 清子	
監 事	中村税務会計事務所 所長	中村 良美	陸災防監事
〃	(一財)九州陸運協会 宮崎支部長	外西 昭二	陸災防監事

※ 備考欄の㊦は令和3年6月の定例総会で新たに就任した理事。

(6) 職員に関する事項

① 異動状況

区 分	当 初	採 用	退 職	期 末
協 会 計	1 0	0	1	9

② 配置状況

区 分	事 務 局 長	総 務 課	業 務 課	適正化事業課
協 会 計	1	1	4 (指導員兼務3)	3

※ () 内の数字は兼務職員数

区 分	事 務 局 長	課 長	係 長	主 任	係
協 会 計	1	2	2	3	1

2 主要な会議等

(1) 令和3年度(第46回)通常総会

- 日時 : 令和3年6月21日(月) 14時～
- 場所 : 宮崎観光ホテル
- 議題

- 第1号報告 令和2年度事業報告について
- 第2号報告 令和2年度公益目的支出計画実施報告について
- 第1号議案 令和2年度計算書類の承認について
- 第2号議案 役員を選任について

(2) 理事会

開催年月日	回	議 題	開 催 場 所
R 3. 5. 19	1	通常総会提出議案等について	県ト協
R 3. 6. 21	2	役員を選任について	宮崎観光ホテル
R 3. 7. 30	3	承認事項、報告事項等について	県ト協
R 3. 10. 28	4	承認事項、報告事項等について	県ト協
R 4. 1. 11	5	承認事項、報告事項等について	宮崎観光ホテル
R 4. 3. 28	6	承認事項、報告事項等について	県ト協

(3) 全ト協、九ト協等関連

- 令和3年 4月 8日 全国専務会
- 4月12日 第4回コロナ特別対策委員会
- 5月28日 第52回物流政策委員会
- 6月17日 第1回九プロ専務会議(リモート)
- 6月17日 第1回九ト協理事会(リモート)
- 6月24日 第98回全ト協通常総会
- 6月25日 交通安全協会評議委員会
- 7月 8日 全ト協第192回理事会
- 7月 8日 第222回常任理事会
- 7月 8日 第64回評議委員会
- 7月15日 全国専務会
- 7月20日 九ト協第1回広報委員会
- 8月25日 第53回物流政策委員会

	9月 3日	九ト協第2回広報委員会WEB会議
	9月21日	第17回経営改善・情報化委員会
	11月 5日	第43回九州物政懇
	11月16日	第2回九ト協理事会
	11月16日	第2回九ブロ専務理事会
	11月18日	物流政策委員会正副委員長等会議
	11月22日	全ト協第51回環境対策委員会
	12月 2日	全ト協政治連盟冬期懇談会
	12月 2日	第193回全ト協理事会
	12月 2日	全ト協燃料価格高騰経営危機突破総決起大会
	12月23日	第54回物流政策委員会
	12月23日	国交省緊急輸送ワークショップ (WEB)
令和4年	1月13日	全国専務会
	2月25日	物流政策委員会正副会議
	3月 3日	全国適正化本部長会議
	3月 3日	全ト協第194回理事会
	3月 3日	全ト協政治連盟春季懇談会
	3月 9日	九ト協専務会
	3月 9日	九ト協理事会

(4) 県ト協関連

令和3年	4月14日	令和3年新規職員研修
	4月19日	貨物組合連合会総会
	4月23日	県ト協監査
	4月28日	みやざき農の物流DX推進協議会
	5月12日	県総合交通課交付金会計確認調査
	5月13日	内外情勢調査会セミナー
	5月14日	フレンズ会
	5月26日	就職氷河期世代向け短期資格等習得コース担当者説明会(リモート)
	6月 1日	農業振興公社理事会
	6月 2日	宮崎農の物流DX推進協議会
	6月10日	内外情勢調査会セミナー
	6月11日	宮日政経懇話会
	6月14日	貨物組合連合会事務局会議
	6月15日	新型コロナワクチン接種に係る県知事への要望書提出
	6月28日	新型コロナワクチン接種に係る各市町村長への要請(～7月中旬)
	6月29日	農業振興公社総会
	6月30日	みやざきSDGsプラットフォーム総会
	7月 6日	国富町懇談会
	7月 7日	宮日政経懇談会
	7月 9日	フレンズ会
	7月13日	四国地方整備局 フェリー航路利用促進ヒアリング
	7月14日	南九州物流センター親睦会
	7月15日	集団接種、職域接種によるワクチン接種開始(～10月3日)
	7月20日	令和3年度宮崎県道路利用者協議会総会
	7月20日	令和3年度宮崎県道路愛護運動推進協議会総会

7月20日 第1回整備管理者選任前研修
 7月20日 第2回整備管理者選任前研修
 7月20日 南九州交通共済協同組合懇談会
 7月26日 「日本のひなた宮崎」プロモーション官民推進会議
 7月28日 南九州物流センター交通安全研修
 7月30日 自民党県連県政要望関係ヒアリング
 8月 3日 県交通渋滞対策協議会
 8月 3日 県畜産新生推進会議
 8月 4日 県総合交通課 下半期業務関係協議
 8月 4日 県港湾セミナー
 8月 6日 フレンズ会
 8月11日 鳥フル発生時の緊急輸送に関する県との意見交換会
 8月17日 宮崎地区暴迫協議会
 8月18日 内外情勢調査会セミナー
 8月19日 みやざき農の物流DX会議
 8月20日 「標準的な運賃」セミナー基礎編
 8月27日 「宮崎犬反射材キーホルダー」贈呈式
 9月 2日 消防訓練（県ト協）
 9月 3日 婦人協議会訪問
 9月 8日 宮日政経懇話会
 9月13日 県貨物組合連合会事務局定例会
 9月15日 県農業流通ブランド課来協
 9月16日 令和4年度トラック関係施策に関する要望書提出
 9月21日 第2回九ブロ女性協議会
 9月22日 内外情勢調査会セミナー
 9月29日 県ト協チャリティゴルフ
 10月 6日 トラック運送業の働き方改革・宮崎カーフェリー関連の県要望
 10月 7日 DX意見交換会
 10月 8日 フレンズ会
 10月 8日 ミヤチク加工場（3D冷凍施設）見学会
 10月13日 九州運輸局長来協
 10月15日 県高速道路安協理事会
 10月19日 トラックの日献血（県ト協）
 10月20日 宮崎カーフェリー新造船進水式
 10月20日 財政援助団体等事務局監査
 10月21日 内外調査会セミナー
 10月26日 「標準的な運賃」応用セミナー
 10月27日 宮日政経懇話会
 10月27日 宮崎県家畜防疫連携会議
 10月29日 県長距離フェリー意見交換会
 11月 2日 財政援助団体等委員監査
 11月 5日 JA宮崎経済連協議
 11月 5日 労基セミナー
 11月 8日 優秀安全運転事業所表彰
 11月 9日 都城市役所へのワクチン接種感謝状贈呈式
 11月 9日 異業種交流会

	1 1月 1 1日	陸災防全国大会（熊本県）
	1 1月 1 2日	みやざき新価値創造マッチングプレゼン2021
	1 1月 1 2日	千徳会
	1 1月 1 5日	みやざき農の物流DX推進協議会先進地調査（～17日）
	1 1月 1 5日	内外調査会セミナー
	1 1月 1 6日	令和3年度高千穂通周辺道路空間利活用社会実験協議会
	1 1月 2 4日	献血表彰式
	1 1月 2 5日	貨物組合定時総会
	1 1月 2 6日	宮日政経懇話会
	1 1月 2 7日	農業法人物流等懇談会
	1 1月 2 9日	交通共済代理店会議
	1 2月 1日	家畜防疫対策課協議
	1 2月 1日	県農業流通ブランド課来協
	1 2月 2日	宮崎県冬期道路交通確保対策調整会議
	1 2月 3日	大分県来協（RORO船活用セミナー協力要請）
	1 2月 5日	高千穂通周辺地区における社会実験の開催式
	1 2月 6日	鹿児島県トラック協会来協
	1 2月 8日	県母子募婦福祉連合会備蓄非常食贈呈式
	1 2月 8日	地方協議会事務局打合せ
	1 2月 1 3日	みやざきSDGsプラットフォーム講演会
	1 2月 1 3日	みやざきアグリフードチェーン司令塔会議
	1 2月 1 3日	貨物組合事務局定例会議
	1 2月 1 3日	宮日政経懇話会
	1 2月 1 4日	J A経済連・県との物流対策検討会
	1 2月 1 4日	次期「トラックの森」候補地調査
	1 2月 1 7日	宮崎県の物流に関する意見交換会
	1 2月 2 7日	宮崎市役所都市計画調整協議
令和4年	1月 4日	新年賀詞交換会
	1月 7日	今山八幡宮産業安全祈願祭
	1月 1 1日	新春懇談会
	1月 1 4日	トラックの森候補地視察
	1月 1 7日	内外調査会セミナー
	1月 1 8日	南九州物流センター新年例会
	1月 1 9日	人材確保セミナー
	1月 2 7日	整備管理者定期研修
	1月 2 8日	宮日政経懇話会
	1月 3 1日	整備管理者定期研修
	2月 8日	内外調査会セミナー
	2月 9日	農産物の持続可能な輸送体制の構築に向けたオンライン研修会
	2月 1 4日	宮崎県道路交通環境安全推進連絡会議（書面審議）
	2月 1 6日	トラックの森候補地視察
	2月 1 7日	高千穂通駐車スペース視察
	2月 2 1日	第13回地方協議会（リモート）
	2月 2 2日	令和3年度宮崎県交通渋滞対策会議
	2月 2 5日	SDGsセミナー
	3月 4日	県総合交通課交付金関係協議

3月 8日	適正化評議委員会
3月 9日	第2期トラックの森整備関係延岡尺所協議
3月10日	農産物パレット協議会
3月11日	フレンズ会
3月14日	宮崎政経懇話会
3月14日	貨物組合連合会事務局会議
3月14日	延岡市役所細島港RORO岸壁整備要望関係協議
3月18日	防災団体連絡協議会
3月22日	高千穂通り周辺道路空間利用活用協議会
3月29日	宮崎カーフェリー新造船進水式祝賀会
3月30日	宮崎カーフェリー新造船進水式
3月31日	パレット循環体制分科会

3 監査及び検査等

(1) 県ト協決算監査

令和3年 4月23日 令和2年度決算監査
(指摘なし)

(2) 県総合交通課行政検査

5月12日 令和2年度運輸事業振興助成補助金に係る確認検査
(指摘なし)

(3) 財政援助団体等監査 <県監査事務局>

10月20日 令和2年度運輸事業振興助成補助金及び協会活動全般
(指摘なし)

(4) 財政援助団体等監査 <県監査委員>

11月 2日 令和2年度運輸事業振興助成補助金及び協会活動全般
(指摘なし)

4 要請活動等

下記の要望事項について、会長・副会長をはじめ専門部会役員及び常勤役員により、要請活動を実施した。

令和3年

6月15日 宮崎県知事への新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の要望
〈県バス協会、県タクシー協会、県トラック協会 3会長連名〉

6月28日 県内市町村長への新型コロナワクチンの優先接種のお願い
〈主な市長・町長に対し常勤役員が訪問、要請。その他は郵送〉

7月30日 全ト協会長への高速道路料金の深夜割引の見直しに関する要望

7月30日 県議会自民党への令和4年度県政に対する要望

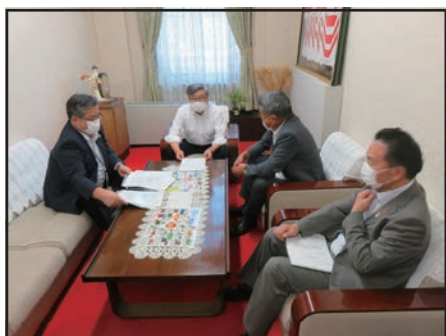
- ① 事業用トラックの高速料金割引の恒久化について
- ② 公共工事に伴うダンプカー輸送について
- ③ 公共工事に伴う建設機械運搬について
- ④ 大型異形ブロック輸送について
- ⑤ フェリー料金の補助と宮崎港に連結する一ツ葉有料道路料金について
- ⑥ 高規格道路都城志布志道路の早期全面開通について
- ⑦ 消毒薬の補助について
- ⑧ 飼料配送のドライバーの安全確保及び労働作業改善について
- ⑨ コロナ禍における職業差別の撤廃について
- ⑩ 原木輸送事業者への啓発活動について
- ⑪ 新型コロナウイルスの感染症対応地方創生臨時交付金の拡充について

9月13日 県選出国會議員への令和4年度トラック関係施策に関する要望
〈古川：9/13、武井：9/17、長峯：9/17、江藤：10/8、松下：10/16〉

10月6日 宮崎県知事への本県トラック運送業界の働き方改革等の実現及び宮崎カーフェリー(株)の新船就航に伴う持続的で安定した輸送力確保等に向けた支援強化についての要望

令和4年

1月26日 宮崎県知事への細島港工業港地区のRORO岸壁の早期事業化の要望



日隈県副知事への要望活動



西田県土整備部長への要望活動



鈴木県港湾課長への要望活動

5 国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の安定供給の確保を目的とする事業《公益目的事業》

(1) 経営基盤強化総合対策事業

① 各種セミナー

人材確保をはじめ、働き方改革、事故防止及び労働安全セミナー等の開催による職場の労務管理や衛生管理に対する意識の高揚、過労運転・飲酒運転による重大事故の防止対策を図った。

	セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
協会 主催	<健康起因事故防止等セミナー> 講師：SOMPOリスクマネジメント シニアコンサルタント 土屋 隆司氏	R3. 10. 19	県ト協	25名
	<運行管理サポート機器等説明会> ○ 求荷求車情報ネットワーク「WebKIT」 講師：日本貨物運送協同組合連合会 ○ 「ロボット点呼」実証実験機器『Tenko de unibo』 講師：(株)ナガアシスト、日本貨物運送協同組合連合会 ○ 「Eラーニング」指導監督指針対応パッケージ 講師：東京海上ディーアール(株)	R3. 12. 14	県ト協	28名
	<同一労働同一賃金セミナー> ○ 運送業と同一労働同一賃金 講師：特定社会保険労務士 森 彰氏	R3. 12. 16	県ト協	18名
	<人材確保セミナー> ○ 新時代に対応した人材の採用・定着 講師：(株)コヤマ経営 代表取締役 小山 雅敬氏	R4. 1. 19	県ト協	22名
	<SDGsセミナー> ○ 持続可能な地域社会を創るトラック運送業界の視点から 講師：宮崎大学 特別教授 永山 英也氏	R4. 2. 25	県ト協	17名
支部 主催	<中央北・中央南支部～合同セミナー> ○ 貨物自動車運送業の働き方改革の推進 講師：宮崎労働基準監督署、みやざき働き方改革推進支援センター、宮崎運輸支局の担当	R4. 1. 24 R4. 2. 2 ※午前午後各2回	県ト協	総計 56名
	<県北支部～ドラコン参加者への事故防止講話> 講師：東九州自動車学校 教習指導員 黒木雄次氏	R3. 6. 12	支部事務所	11名
	<県北支部～事故防止講習会> 講師：日向警察署 交通安全係長 清 晃一郎氏 講師：南九州交通共済協同組合 安全推進企画課長 堀口 智弘氏	R3. 6. 24	日向市大王谷コミュニティセンター	24名
	<県北支部～労務管理・労働災害防止説明会> 講師：延岡労働基準監督署 監督課長 東前友一氏 〃 安全衛生課長 田邊 圭氏	R3. 11. 5	同上	26名



健康起因事故防止等セミナー



同一労働同一賃金セミナー



SDGsセミナー

② 各支部及び各専門部会定例会等

各支部及び各専門部会の定例会において、経済状況の変化や各種情報等の共有化、行政からの通達事項の周知とともに、各専門部会の自主活動として事業者間での直面する課題解決や情報交換等に係る諸活動の活性化を図り、輸送サービスの維持向上及び事故防止等に努めた。

◇ 定例会

	支部・部会名	行 事 名	開催日	開催場所
支 部 活 動	中央北支部	・第1回役員会	R3. 4. 22	県ト協
		・第33回定期総会	R3. 5. 12	県ト協
		・第2回役員会	R3. 7. 21	県ト協
		・第3回役員会	R3. 11. 26	県ト協
		・第4回役員会	R4. 3. 18	県ト協
	中央南支部	・第1回役員会	R3. 4. 16	県ト協
		・第33回定期総会（書面決議）	R3. 5. 14	—
		・緊急役員会	R3. 6. 9	県ト協
		・第2回役員会	R3. 7. 28	県ト協
	県北支部	・第3回役員会	R3. 11. 28	県ト協
		・第1回役員会	R3. 4. 9	県北支部事務所
		・第55回定期総会（書面決議）	R3. 4. 20	—
		・第2回役員会（書面決議）	R3. 8. 26	—
		・第3回役員会	R3. 11. 25	ことひろ
	都城支部	・第4回役員会	R4. 2. 25	県北支部事務所
		・第1回役員会	R3. 4. 27	都城支部事務所
		・定期総会（書面決議）	R3. 5. 20	—
		・第2回役員会	R3. 7. 27	都城支部事務所
		・第3回役員会	R3. 12. 14	そば処まる都城庵
	専 門 部 会 活 動	木材輸送部会	・第4回役員会	R4. 3. 29
・総会（書面決議）			R3. 6. 9	—
重機・ダンプ部 会		・定例会	R3. 10. 21	県ト協
		・第1回役員会	R3. 4. 27	県ト協
		・総会（書面決議）	R3. 5. 13	—
定温輸送部会		・第2回役員会	R3. 12. 27	県ト協
		・総会（書面決議）	R3. 6. 2	—
		・第1回役員会	R3. 10. 14	県ト協
飼料・畜産輸送 部会		・第1回定例会	R3. 11. 25	県ト協
		・第1回役員会	R3. 6. 22	都城支部事務所
		・総会（書面決議）	R3. 6. 30	—
タコロー部会		・第2回（緊急）役員会	R3. 11. 26	都城支部事務所
		・総会（書面決議）	R3. 5. 11	—
路線部会		・総会（書面決議）	R3. 6. 11	—
		・第1回定例会	R4. 3. 11	県ト協
引越専門部会	・総会（書面決議）	R3. 6. 11	—	
	・第1回役員会	R3. 11. 25	県ト協	
セメント部会	・総会（書面決議）	R3. 5. 11	—	
	・第1回定例会	R3. 4. 9	県ト協	
	・総会（書面決議）	R3. 5. 15	—	
若葉会	・第2回定例会	R4. 3. 18	県ト協	

	支部・部会名	行 事 名	開催日	開催場所
	創誠会	・総会（書面決議）	R3. 5. 19	—
		・定例会	R4. 1. 17	県ト協
	女性部会	・総会（書面決議）	R3. 7. 14	—

◇ その他の活動等

	支部・部会名	行 事 名	開催日	開催場所等	
支 部 活 動	中央北支部	労働時間法制度中央北・中央南合同説明会（2日間開催）	R4. 1. 24	県ト協	
	中央南支部		R4. 2. 2	県ト協	
	県北支部	・細島港ケーソン据え付け工事視察	R3. 12. 13	細島港	
		・産業安全祈願祭	R4. 1. 7	今山八幡宮	
・第33回ドラゴン(参加：5社、9名)		R3. 6. 12	県北支部事務所		
都 城 支 部		・令和3年度献血運動推進協力団体等表彰	R3. 11. 24	宮崎県庁5号館	
		・支部単独の第1回安全運転研修	R3. 10. 2	警友自動車学校	
		・支部単独の第2回安全運転研修	R3. 10. 9	警友自動車学校	
専 門 部 会	木材輸送部会	・支部単独の第3回安全運転研修	R3. 10. 16	警友自動車学校	
		・令和4年度国庫補助によるグループ付トラック導入に関する要望調査	R3. 5. 21	木材部会員（21社）	
		・法令違反事業者に対する指導強化について協力願い	R3. 7. 15	宮崎運輸支局	
		・南九州四県合同木材輸送部会「部会長会議」	R3. 10. 2	ホテルマリックス	
		・宮崎県山村木材振興課との過積載対策会議	R3. 10. 6	県ト協	
		・第27回南九州四県合同木材輸送部会宮崎大会	R3. 11. 12	宮崎観光ホテル	
		・過積載運行撲滅のための意見交換会	R3. 12. 23	県ト協	
	定 温 輸 送 部 会		・宮崎県原木木材市場連盟第3回実務者会議への講師出席	R4. 2. 28	県森連
			・第1回九州ブロック食料品部会	R3. 8. 5	WEB会議
			・第2回九州ブロック食料品部会	R3. 11. 9	福岡県トラック協会
活 動	飼料・畜産輸送部会	・みどりナンバー輸送PR旬間	R3. 12. 10 ～12. 17	宮崎中央卸売市場	
		・農産物の持続可能な輸送体制構築に向けた研修会	R4. 2. 9	WEB研修会	
		・高病原性鳥インフルエンザに備える県との意見交換会	R3. 10. 27	県ト協	
		・(協)日本飼料工業会との飼料輸送に係る現地検討会	R3. 12. 13	都城支部事務所	
引 越 専 門 部 会		・令和3年度配合飼料の持続可能な流通体制の構築等に関する検討会 《主催：配合飼料供給安定協議会》	R4. 2. 21	県ト協 (WEB会議)	
		・引越管理者講習	R3. 11. 8	鹿児島県トラック協会	
		・分散引越広告掲載	R4. 2. 26	宮崎日日新聞	

	支部・部会名	行 事 名	開催日	開催場所等
専 門 部 会 活 動	若葉会	・九運青協第1回役員会	R3. 4. 7	書面開催
		・九運青協第2回役員会	R3. 7. 14	WEB開催
		・九運青協第3回役員会	R3. 10. 6	アートホテル大分
		・九運青協第4回役員会	R3. 12. 16	ホテルリタレ創世佐賀
		・全国青年部九州大会	R4. 1. 21	web開催(長崎)
		・全国青年部全国大会	R4. 2. 18	web開催(全ト協)
		・全国青年部車両寄贈式	R4. 3. 22	福岡県立八女工業 高等学校
	創誠会	・第51回全国トラック運送事業経営研究集会	R3. 10. 22	WEB開催 及び日 南北郷リゾートホテル
		・第1回定例会	R4. 1. 17	県ト協
	女性部会	・九州ブロック女性協議会第1回役員会	R3. 7. 19	県ト協(WEB会議)
		・全ト協女性部会代表者協議会	R3. 8. 6	県ト協(WEB会議)
		・九州ブロック女性協議会第2回役員会	R3. 9. 21	県ト協(WEB会議)
		・全ト協女性部会全国研修会	R3. 9. 24	県ト協(WEB会議)
		・全ト協女性部会九州ブロック研修会 IN OKINAWA	R3. 10. 29	県ト協(WEB会議)
		・九州ブロック女性協議会第3回役員会	R4. 2. 25	県ト協(WEB会議)



第27回南九州四県合同木材
輸送部会宮崎大会



高病原性鳥インフルエンザ
に備える県との意見交換会



九州ブロック女性協議会
(WEB会議)

③ 第26回全国トラック運送事業者大会

本年度は愛知県での開催で準備が進められたが、最終的には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止された。

なお、(公社)全日本トラック協会は、令和3年12月2日に「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」が各都道府県ト協の会長らが参加の下、自民党本部で開催された。



燃料価格高騰経営危機突破総決起大会

④ 業界の課題解決に向けた要望・陳情活動等

国や県選出国會議員に対する要請活動とともに、県議会や県に対し予算や新型コロナ対策などの県政要望を積極的に展開し、業界の課題解決を図った。

実施日	要望・陳情内容	要望先	参加者等
R3. 7. 30	・税制改正、県政要望 等	自民党県議団	副会長、専務
R3. 9. 13	・トラック関係施策要望 等	古川衆議院議員	会長、専務
R3. 9. 17	・トラック関係施策要望 等	武井衆議院議員	会長、専務
R3. 9. 17	・トラック関係施策要望 等	長峯参議院議員	会長、専務
R3. 10. 8	・トラック関係施策要望 等	江藤衆議院議員	副会長
R3. 10. 16	・トラック関係施策要望 等	松下参議院議員	専務
R3. 12. 6	・大型異形ブロックの輸送に関するお願い	国交省宮崎港湾 空港整備事務所	重機ダンプ部会
R3. 12. 13	・特殊車両通行許可条件におけるC条件緩和に関するお願い ・特殊車両通行許可申請に係る個別審査期間短縮等のお願い	国交省宮崎河川 国道事務所	重機ダンプ部会 部会長・役員
R3. 12. 13	・公共工事に伴うダンプカー輸送に関するお願い ・公共工事に伴う建設機械運搬に関するお願い	県土整備部	重機ダンプ部会 部会長・役員

⑤ 確固たる協会組織の基盤づくり

宮崎運輸支局と連携し、県及び県建設業協会、県商工会議所連合会等に対し、Gマーク認定取得事業所への理解と県発注公共工事をはじめとするGマーク車両の優先使用に係る指導要請活動を展開した。

実施日	要望・陳情内容	要望先	参加者等
R3. 11. 10	・公共工事に伴う土砂等に関する要望書	県建設業協会	支局、県ト協
R3. 11. 10	・輸送依頼に係るGマーク事業者の優先利用のお願いについて	宮崎商工会議所	支局、県ト協



Gマーク車両の優先使用に係る指導要請活動



重機ダンプ部会の要請活動

(2) 交通安全・事故防止対策事業

① 総合的な事故防止対策の推進

国の「事業用自動車総合安全プラン2025」及び全日本トラック協会の「トラック事業における総合安全プラン2025」に基づき、総合的な事故防止対策を推進した。

◇ 交通事故防止研修会

セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
<プラン2025目標達成フルセミナー> 講師：SOMPOリスクマネジメント(株) シニアコンサルタント 土谷 隆司氏	R3.11.9	県ト協	12名

また、令和3年11月24日に交通事故・労働災害防止総決起大会(100名参加)を県ト協で開催し、基調講演では実際発生した事故映像を活用して交通事故防止の意識啓発を行った。

② 交通事故防止のための事業所への講師派遣・啓発活動等支援

会員事業所が実施する事故防止講習会への講師派遣、並びに講師料の一部助成を実施し、延べ7社294名に対して安全運転、事故事例、防止対策等に係る集団指導を実施した。

また、協会では、会員事業所での交通安全の啓発活動支援のため、各種交通安全教育用DVD及び適性診断機の貸し出し等も行った。

③ 交通事故防止コンクール

県・県警・宮崎運輸支局・労働局が後援する「交通事故防止コンクール」において、無事故・無違反をグループで競うことにより、運転者のモラル向上及び事故防止意識の高揚を図った。

実施期間	参加チーム数	無事故・無違反達成チーム数	達成率
R3.6/15~12/31	1,048チーム	938チーム	89.5%

④ 各種交通安全キャンペーンへの参加及び啓発活動等の推進

各行政機関や団体等が行う交通安全運動に参加するとともに、協会会員や関係機関等の参加の下、過積載絶滅運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検、飲酒運転根絶運動等を展開した。

運動名	活動内容等
春の全国交通安全運動 <4/8~4/15>	交通安全運動開始式(会場：県庁)参加、パトロール163社、ポスター560枚作成・配布、新聞での交通安全広告掲載(4紙)
秋の全国交通安全運動 <9/21~9/30>	ポスター560枚作成・配布、パトロール202社、新聞広告掲載(3紙)
夏の交通安全県民総ぐるみ運動	開始式参加(県庁)、ポスター560枚作成・配布、FM宮崎・ケーブルTVスポットCM放送、新聞広告(3紙) <7/11~7/20>
過積載絶滅運動 <11/1~11/30>	推進大会(11/1、県ト協)、幟550枚・ポケットティッシュ2,000個・フライヤー800枚作成・配布
年末年始の輸送等に関する安全総点検 <12/10~1/10>	ポスター560枚作成・配布
飲酒運転根絶運動 <12/1~12/31>	根絶街頭キャンペーン、啓発ミニハンカチ500枚作成・配布、新聞広告掲載(3紙)



春の全国交通安全運動開始式



協会前の交通安全幟



飲酒運転根絶運動街頭キャンペーン

⑤ トラックドライバー・コンテスト

7月3日（土）に梅田学園自動車学校佐土原校に於いて、第37回目の県大会を開催し、2トン、4トン、11トン、トレーラの4部門に、20名の選手が優勝を目指し、競技が行われた。各部門の優勝者は下記のとおりで、10月の茨城県で開催された全国大会で、トレーラ部門の末吉さんが部門第3位に輝いた。

部門	氏名	支部名	会社名
2トン部門	濱屋 和人	都城	日本通運(株)都城支店総合物流センター
4トン部門	山本 祐也	県北	センコー(株)東九州車輛支店延岡車輛営業所
11トン部門	野呂 卓司	都城	日本通運(株)都城支店総合物流センター
トレーラ部門	末吉 泰祐	都城	南九州センコー(株)えびの営業所



ドラコン(筆記試験)



実技試験



県大会優勝者(中央)

⑥ 安全運転研修

ドライバーの安全意識や運転技術の向上等を目的とした各種研修や、運行管理者の責任の明確化と資質向上による運転者の管理徹底を図るための講習会の受講者に助成を行った。

開催日	開催場所	研修機関	出席者数
R3. 6. 7	梅田学園交通安全教育研修所	同左	3名
R3. 6. 8	梅田学園交通安全教育研修所	同左	2名
R3. 6. 22	梅田学園交通安全教育研修所	同左	1名
R3. 6. 10 ~ 6. 11	梅田学園交通安全教育研修所	同左	5名
R3. 7. 31 ~ 8. 1	ドライビングアカデミーONGA	同左	2名
R3. 4. 24 ~ 4. 25	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	10名
R3. 5. 22 ~ 5. 23	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	13名
R3. 7. 24 ~ 7. 25	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	15名
R3. 9. 25 ~ 9. 26	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	13名
R3. 10. 23 ~ 10. 24	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	13名
R3. 11. 13 ~ 11. 15	ドライビングアカデミーMIYUKI	同左	7名
R3. 5. 24	梅田学園交通安全教育研修所	同左	4名
R3. 5. 25	梅田学園交通安全教育研修所	同左	1名
R3. 7. 8 ~ 7. 9	梅田学園交通安全教育研修所	同左	5名
合	計		94名

⑦ 高齢者交通安全講習会

県警本部交通企画課及び南警察署等の協力を得て、交通安全教育車の乗車、シートベルトコンビンサー及び高齢者歩行者教育システムの各種体験や交通安全講習に参加いただいた。

開催日	開催場所	出席者数
R3. 9. 28	宮ト協 総合研修会館	高齢者19名



高齢者講習会全体説明



交通安全教育車の乗車体験



高齢者歩行者教育システム体験

⑧ 交通安全対策に係る各種助成事業等

安全装置やアルコール検知器の導入、トラックドライバーの適性診断の受診、運転記録証明書の取得など、事故防止に係る機器の導入や活動等に対して助成を行った。

助成事業名(交付金会計分)		助成実績	助成額
安全機器等の導入	ドライブレコーダー機器導入促進助成	34社 183台	1,830,000円
	安全装置等導入助成	29社 99台	1,000,000円
運転記録証明証明書助成		5,648名	3,784,160円
運行管理者研修(一般講習)助成		750名	2,400,000円
睡眠時無呼吸症候群検査助成		17社 353名	882,325円
アルコール検知機器導入助成		34社 175台	854,000円
ドライバー等安全教育訓練助成		94名	2,926,800円
適性診断推進助成	自動車事故対策機構	2,374名	5,697,600円
	みゆき学園	362名	868,800円
合 計			20,243,685円

また、一般会計予算からも健康診断助成や教育講習(フォーク)助成を実施した。

助成事業名(一般会計分)	助成実績	助成額
健康診断助成	6,000名	6,000,000円
教育講習(フォーク)助成	117名	1,170,000円
合 計		7,170,000円

⑨ 新入学児童への交通安全啓発用品及び交通遺児寄付金の贈呈

県内の新入学児童に対し市町村教育委員会を通じ、トラック輸送への理解と交通安全意識を啓発するための交通安全教材(交通標識入り定規、対象学校数243校)10,000本を配布するとともに、反射材付マスコット人形3,000個、及び交通遺児寄付金30万円を宮崎県交通安全対策推進本部(本部長 河野宮崎県知事)に贈呈した。

(3) 地方貨物自動車運送適正化事業

① 輸送秩序確立

令和3年度の年間を通して輸送秩序確立に向けた、会員事業所に対する巡回指導及び部会活動等をはじめ、機会ある毎に法令遵守の徹底に取り組んだ。

② 適正化事業連絡会幹事会

宮崎運輸支局との連携のもと、毎月の巡回指導の実施結果及び計画について報告し、運輸局が実施した監査状況や行政処分などについて情報交換を行うとともに、社会保険等未加入事業者へ

の適正加入指導や会員事業者からの相談等へのサポート的な指導を実施した。

③ 適正化事業連絡会議本会議

令和3年度の適正化事業業務の進捗状況、適正化事業実施機関の事業計画（案）、運輸局・支局における監査結果等について協議・報告を行った。

開催日	開催場所	出席者数
R3. 6. 22	宮崎運輸支局	12名
R4. 1. 19	宮崎運輸支局	12名

④ 適正化事業評議委員会

委員6名に対し、適正化事業の業務進捗状況（計画・実績）及び地域実情に即した課題等を諮るとともに、業界全般の意見・提言等の聴取による適正化事業の公正かつ適切な運営を行った。

開催日	開催場所	出席者数
R3. 10. 28	県トラック協会	11名
R4. 3. 8	宮崎観光ホテル	12名



評議委員会（10月開催）



三好委員長



評議委員会（3月開催）

⑤ 安全性評価事業（Gマーク制度）

令和3年度の申請に向けた説明会は新型コロナウイルスの影響で開催できなかったが、個別の事業者訪問、巡回指導や専門部会、支部活動を通じた新規事業所の掘り起こしや、更なる本制度の普及・啓発活動等を行った。その結果、認定事業所383件で、事業所認定率が50.5%（前年度比3.6%増）となり、全国初の5割超えを達成し、2年連続の日本一の座を維持できた。

Gマーク制度の更なる普及・拡大を図るために、新聞等のマスコミ媒体や「Gマークラッピングトラック」1台を新設し、合計5台でPR活動を展開した。

さらに、県及び県建設業協会、県商工会議所連合会、荷主等に対し、Gマーク取得事業所への理解促進と県発注公共事業におけるGマーク車両の優先使用指導に係る要請活動等を実施した。

認定事業所数								5輛以上の事業所認定率	
新規	初回更新	2回目更新	3回目更新	4回目更新	5回目更新	R3年度合計	累計(件)	R3年度(%)	R2年度(%)
35	21	26	7	9	0	98	383	50.5	46.9



Gマークラッピングトラック



安全性優良事業所表彰



Gマーク認定率日本一達成横断幕

⑥ 過積載絶滅運動

支局による決起大会、過積載取締りなどを実施するとともに、長年の懸案である木材運搬に係る過積載について県及び林業関係機関・団体との連携による絶滅運動の強化に向けた検討会を重ね、令和4年度初めに関係機関参集による連絡会議を発足することになった。

また、過積載防止幟550枚を作成し、全会員、荷主団体、行政機関に配布した。

開催日	会議内容	開催場所	出席者数
R3. 10. 6	県山村木材課との過積載対策会議	県ト協	6名
R3. 11. 1	宮崎県過積載絶滅運動推進大会	県ト協	100名
R3. 12. 23	林業関係の県・団体との過積載撲滅の意見交換会	県森林組合連合会	15名
R4. 2. 28	原木市場連盟第3回実務者会議	県造林素材生産事業協同組合連合会	10名
R4. 3. 7	林業関係の県・団体との意見交換会事務局打合せ	県ト協	5名



過積載絶滅運動推進大会



過積載絶滅推進運動の幟等



林業関係者との過積載対策意見交換会

⑦ 運行管理者試験対策事前講習会

運行管理者国家試験対策として、受講者を対象に開催した。

開催日	開催場所	受講者数	受講者合格率
令和3年7月18日	県ト協 および WEB開催	59名	データなし
令和4年1月23日	県ト協 および WEB開催	53名	データなし

⑧ 「標準的な運賃」活用セミナー

標準的な運賃の届出方法、活用方法及び荷主への交渉等について、基礎編と応用編の2回開催した。

セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
<「標準的な運賃」活用セミナー基礎編> 講師：日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役 小坂 真弘氏	R3. 8. 20	県ト協	18名
<「標準的な運賃」活用セミナー応用編> 講師：日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役 小坂 真弘氏	R3. 10. 26	県ト協	20名

⑨ 「標準的な運賃」に係る荷主への要請活動

会員事業所の荷主252社に対し宮崎運輸支局と連名で文書発出を行い、「標準的な運賃」の周知活動を展開するとともに、会員事業所の届出件数も令和4年3月末で92%となった。

※ 標準的な運賃に係る届出件数(令和4年3月末現在) 宮崎県：92.0%、全国平均：64.4%

⑩ 巡回指導

令和3年度の巡回指導は153事業所で実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画に対する実施率は87.4%であった。

◇ 巡回実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	12	1	12	6	22	22	26	14	13	13	0	12	153件

◇ パトロール実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	6	1	6	4	15	12	15	9	7	9	0	7	91件

ア) 巡回指導実績

巡回事業所数	事業所	(件)
指導実績状況	・事業計画に等に係る指摘	10
	・帳票等の整備報告等に係る指摘	28
	・運行管理等に係る指摘	215
	・車両管理等に係る指摘	50
	・労基法等に係る指摘	43
	・法定福利費にかかる指摘	2

イ) 実施結果評価一覧表

	事業所数	構成比
A	39	25.5%
B	71	46.4%
C	31	20.3%
D	8	5.2%
E	1	0.7%
その他	3	2.0%

巡回事業所数	事業所	(件)
指導実績状況	・運輸安全マネジメントに係る指摘	21
	合計	369

	事業所数	構成比
計	153	100.0%

⑪ 適正化事業研修会

新規事業者及び総合評価D、Eの事業所を対象に、巡回指導に関することや最近の法令改正への対応など、事業者のレベルアップを目的とした研修会については新型コロナウイルスの影響を受けて開催できなかった。

⑫ 適正化指導員の資質向上

本県及び鹿児島・沖縄の両県と合同で例年開催している適正化事業指導員合同研修会が、令和3年12月16日～17日にホテルマリックス（宮崎市）で開催され、11名が参加し、全ト協の講師のもと活発な研修が行われた。

⑬ 苦情処理への適正・迅速な対応

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対し適正かつ迅速に対応し、早期解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運転マナー	3	1	1	3	0	1	3	1	1	0	0	1	15件
労働関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
その他	5	2	2	2	2	1	1	1	2	0	3	5	26件
合計	8	3	3	5	2	2	4	2	3	0	3	6	41件

(4) 環境・エネルギー対策事業

① SDGs（持続可能な開発目標）への対応

県内におけるSDGsの普及啓発及び連携・協働促進を目的に産学官労官連携の場として、

令和4年4月に設立された「みやざきSDGsプラットフォーム」に会員として参画した。

また、令和4年2月25日には「持続可能な地域社会を創る～トラック運送業界の視点から」と題して17名参加のもと研修会を開催し、会員事業所幹部等に対する意識啓発を図った。

② 「トラックの森」整備事業

地球温暖化防止と環境負荷軽減対策等に対するトラック業界の積極的な姿勢をアピールするため、平成16年度から整備してきた第1期トラックの森（川南地区：5.2ha）は、分収造林設定契約満了分から随時川南町に返還し、今後は町が広葉樹の森として管理することになった。

また、新たに第2期のトラックの森整備を進めるため、市町村からの提案及び県緑化推進機構及び森林組合など関係機関の協力の下、候補地選定等を行った。



第1期トラックの森(川南地区)



第2期予定(延岡地区)



③ モーダルシフトの推進

本県の基幹産業である農林水産物を大消費地に届け、外貨を稼ぐためには長距離貨物トラック輸送が主流であることから、担い手不足や2024年問題を踏まえ、県や物流関係企業、荷主であるJAグループ及び農業法人協会等が参画する「みやざき農の物流DX推進協議会」を核に、カーフェリーやRORO船活用における課題検証や物流改革に関する調査・研究を行った。

④ エコドライブの徹底及び環境対応車の普及に向けた各種導入助成事業等

会員事業者の低公害車等の環境対応車両導入をはじめ、環境対策や省エネルギー対策及びグリーン経営認証登録などに係る助成金を交付した。

助成事業名	助成実績	助成額
アイドリングストップ支援機器導入助成	2社、11台	110,000円
低公害車導入促進助成金事業	86台導入	6,940,000円
EMS機器導入助成	198台	1,980,000円
グリーン経営認証制度促進助成事業	11営業所	550,000円
合計		9,580,000円

(5) 労働・労務対策事業

① トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

取引環境の改善や長時間労働の抑制を実現するため、宮崎運輸支局及び労働局で共同運営する「宮崎県地方協議会」に参画し、各種情報の共有化や農産物加工品（プロイラー精肉・加工品）に係る物流課題と今後の在り方等についての意見交換等を行った。

② 新型コロナウイルス感染防止対策及びワクチン接種に係る支援等

会員事業所の従業員等がエッセンシャルワーカーとしての輸送業務等の安全・安心を確保できるよう、ホームページや広報誌等を活用したコロナ関連情報の提供とともに、マスク・アルコール

ル消毒液の配布及び濃厚接触者が出た事業所には抗原検査キットを提供した。

また、ワクチン接種に当たっては、県・市町村・医療機関等の協力を得て、ドライバー等の優先接種指定とともに、市町村の集団接種では優先接種券の配布によるワクチン接種の早期化、県の大規模接種会場や他企業等の協力による協会会員向けの職域接種枠の確保など、あらゆる手段を活用しながらワクチン接種率の向上に取り組んだ。

更に、11月にはトラックドライバーらへの市町村ワクチン接種で貢献のあった池田都城市長に対し、牧田会長から感謝状を贈呈した。

- <1・2回目接種> 実施期間：R3. 7.15 ～ 10. 3
 接種した実事業者数：200社、接種者数：1,645名、@8.2名/社
- <3回目接種> 実施期間：R4. 3. 9 ～ 3.26
 接種した実事業者数：21社、接種者数：132名、@6.3名/社



県の大規模接種(県延岡保健所)



職域接種(潤和会記念病院)



池田都城市長への感謝状贈呈

③ 健康起因事故防止等セミナー(再掲)

健康起因事故の現状及び事故を引き起こす病気や生活習慣病等の予防方法等についてグループワークを交えながら定期健康診断のフォローアップのための意見交換及び研修を実施した。

セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
健康起因事故防止セミナー	R3. 10. 19	県ト協総合研修会館	25名

④ 同一労働同一賃金セミナー(再掲)

正規雇用労働者と非正規雇用労働者の待遇差の解消を図るための関係法令が適用となったことを受け、会員事業所に対し顧問社会保険労務士によるセミナーを実施した。

セミナー名	開催日	開催場所	出席者数
同一労働同一賃金セミナー	R3. 12. 16	県ト協総合研修会館	18名

⑤ 働きやすい職場認証取得の推進

「働きやすい職場認証制度」の認定取得のサポートを行うとともに、認定推進機関による個別の申請アドバイスを実施した。

⑥ 労務相談窓口の設置と各種相談業務の実施

社会保険労務士と顧問契約を締結し、会員事業所からの労働問題に関する相談業務を行うとともに、トラック広報誌に労務管理・人事管理に関するコラムを毎号掲載し、会員に対し広く情報提供を行った。

⑦ 労務改善等に関する各種助成事業等

会員事業所の働きやすい職場認証制度の認証取得や従業員の大型をはじめとする免許取得に係る助成を行った。

助成事業名	助成実績	助成額
免許取得助成	大30, 中3, けん8, 準中1, 限解1	2, 104, 800円
働きやすい職場認証取得助成	2 1 社	672, 000円

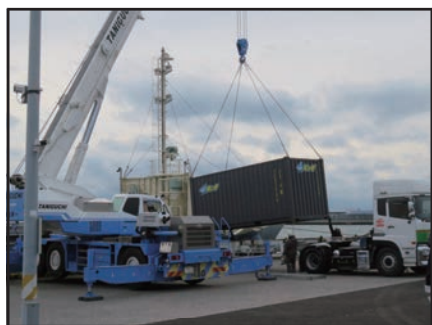
(6) 緊急物資輸送対策事業

① 総合防災訓練等の参加

県及び市町村等と締結している「災害時の物資等緊急輸送に関する協定」に基づき、防災訓練や会議等に参加し、緊急物資等運搬協力や運送業からの専門的な提言等を行った。

訓練等名	開催日	開催場所
備蓄拠点・広域物流輸送拠点の整備に関する見学会及び意見交換会	R3. 12. 17	広域物資物流拠点（小林市） 県庁防災庁舎備蓄倉庫
緊急物資輸送演習(国交省)	R4. 2. 18	JA宮崎経済連集配センター他

なお、宮崎県総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止された。



緊急物資輸送演習(国交省)

② 緊急物資支援機材及び非常食等の配備

協会における非常用通信（衛星・IP電話、防災無線）や照明設備等の適正配備とともに、非常食等の備蓄については賞味期限等を勘案して補充・入れ替えの際、社会福祉機関等への提供を通じて有効活用を図った。

◇災害時用備蓄食料品の贈呈概要

- ・ 贈呈日 令和3年12月8日（水）
- ・ 贈呈先 一般社団法人宮崎県母子寡婦福祉連合会 福山陽子理事長
- ・ リスト 水、カロリーメイト、レトルト（中華丼、カレー、チキンライス）、サバイバルパン、不織布マスク 一式



災害時用備蓄食料品の贈呈式（一社 宮崎県母子寡婦福祉連合会）

③ 感染症予防対策

会員事業者従業員の感染症予防対策としてインフルエンザワクチン接種に対し助成を行った。
 < 68社、1,584名、助成額：1,584,000円 >

④ 家畜伝染病対策等

豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の発生に対応するため、県と協会の飼料・畜産輸送部会等において、平常時の防疫対策及び資機材等の緊急輸送に係る情報共有と協力体制を確認するための定期的な意見交換等を開催した。

なお、本年度は本県での家畜伝染病の発生はなかった。

会 議 名	開催日	参加人数	開催場所
・高病原性鳥インフルエンザ緊急物資輸送報告	R3. 4. 15	6名	県ト協
・高病原性鳥インフルエンザ緊急輸送に関する意見交換会	R3. 8. 11	17名	県ト協
・高病原性鳥インフルエンザに備える飼料畜産輸送部会意見交換会	R3. 10. 27	13名	県ト協



緊急輸送に関する意見交換会



家畜防疫強化月間の啓発幟



県担当者特別研修(フォークリフト操作)

(7) 経営・近代化促進事業

① 青年部研修(再掲)

次代を担う事業後継者、青年経営者を育成するため、研修等に参加した。

行 事 名	開催日	開催場所	出席者数
・九運青協第2回役員会	R3. 7. 14	県ト協(WEB会議)	2名
・九運青協第3回役員会	R3. 10. 6	アートホテル大分	2名
・全ト協青年部第2回全国代表者会議	R3. 11. 26	全ト協	1名
・九運青協代表者会議	R3. 12. 16	ホテルマリターレ創世(佐賀)	3名
・九州ブロック大会	R4. 1. 21	県ト協(WEB会議)	2名
・全国大会	R4. 2. 18	県ト協(WEB会議)	2名

② 女性部会研修等(再掲)

女性活躍の推進によるトラック運送業界の発展・地位向上のための研修等に参加した。

行 事 名	開催日	開催場所	出席者数
・県ト協女性部会 総会	R3. 7. 14	県ト協	14名
・九州ブロック女性協議会 第1回役員会	R3. 7. 19	県ト協(WEB会議)	2名
・全ト協女性部会 代表者協議会	R3. 8. 6	県ト協(WEB会議)	2名
・九州ブロック女性協議会 第2回役員会	R3. 9. 21	県ト協(WEB会議)	2名
・全ト協女性部会 全国研修会	R3. 9. 24	県ト協(WEB会議)	2名
・全ト協女性部会九州ブロック研修会 IN OKINAWA	R3. 10. 29	県ト協(WEB会議)	7名
・九州ブロック女性協議会 第3回役員会	R4. 2. 25	県ト協(WEB会議)	7名

③ リーダー研修

会員事業者の管理者等の資質向上を図るため、知識のスキルアップ、職場環境の改善、職場のイメージアップ等に資する研修を8月18日に開催予定だったが、新型コロナウイルス拡大により中止とした。なお、中小企業大学校受講については1名の参加者に助成した。

④ 物流効率化等に関する研究

県が主催する「宮崎県長距離フェリー航路利用促進協議会」や「みやざきアグリフードチェーン司令塔会議」等において、会長出席のもとトラック業界からの積極的な政策提案等を行った。

更に、県、荷主団体、物流関係業界等が参画する「みやざき農の物流DX推進協議会」の活動と連携して、宮崎を発着する物流の効率化と新たな物流システム等に関する調査研究を行った。

- 青果物輸送に関するアンケート調査（18社）
- 荷下ろし箇所数の削減など輸送ルート最適化
- トラック予約受付システムの検証（大田市場の予約受付システム「EPARK」の利用）
- 宮崎カーフェリーの下り荷確保実証 等



長距離フェリー航路利用促進協議会



県物流懇話会



宮崎県地方協議会

⑤ 経営分析の活用促進

国土交通省に毎年報告義務のある「一般貨物自動車運送事業報告書」及び「貨物自動車運送実績報告書」の過年度分（5年間）のデータベース化を行うためのシステム開発を行った。

新年度以降、県下のトラック運送事業者の経営実態を分析し、会員事業者や専門部会毎の経営指標等の参考とするとともに、荷主企業等との意見交換などで業界の現状・課題等を理解してもらうための資料として活用を図る。

⑥ 経営・近代化促進対策に係る各種助成事業

燃料高騰など会員事業者の経営改善の一層の強化を図るための助成を行った。

助成事業名	助成実績	助成額
自家用燃料供給施設整備支援助成	4件	4,000,000円

物流施設の整備や近代化・合理化に資する設備並びに輸送力の増強等を促進するため、近代化基金の利子補給（利子補給率：0.3%）とともに、信用保証協会への保証料助成1社に行った。

区分	商中金融融資		利子補給	
	融資件数	融資実行額	利子補給件数	利子補給額
一般融資	12件	240,449円	12件	1,936,896円
ポスト新長期融資	8件	85,422円	8件	607,888円
省エネ機器融資	1件	17,000円	1件	128,137円
合計	21件	342,871円	21件	2,672,921円

(8) 消費者対策事業

① 引越事業者優良認定制度の推進

「引越安心マーク」の普及促進を図り、一般消費者の認知度を向上させるため、引越事業者優良認定制度の積極的な周知活動を行った。

② 消費者サービス向上に向けた支援

一般消費者からの引越等に係る相談窓口を設置し、迅速・丁寧な対応に努めた。

「引越講習（基本・管理者）」の実施などによる引越輸送の信頼向上、引越繁忙期におけるサービスレベルや輸送品質を保持するため、ラジオスクーパーや新聞広告等による分散引越の周知活動を展開した。

(9) 広報対策事業

① 各種メディアを活用した幅広い広報活動の展開

トラック運送事業に関する正しい理解やイメージアップ、当協会の活動状況等を広く周知するため、各種メディア（新聞（地方紙・全国紙、物流関係専門紙等）、テレビ（MRT・UMK）、ラジオ（MRT・FM）、大型街頭ビジョン等）を活用し広告掲載や広報活動を積極的に展開した。

さらに、当協会の各種活動等についての記事投げ込み等も積極的に行い、テレビ報道や新聞記事掲載等で広く情報発信がなされた。

《協会の主要活動》

①協会活動のPR、②交通安全キャンペーン、③適正取引の推進、④標準的な運賃の収受
⑤安全性評価事業（Gマーク制度）、⑥引越事業者優良認定制度（引越安心マーク）他

《協会の附帯活動》

①優しい運転キャンペーン、②環境の日特集、③防災の日特集、④飲酒運転根絶強化月間
⑤高速道路整備促進企画、⑥モーダルシフト推進、⑦物流改革等特別企画 等の協賛広告

② 広報誌及びホームページ等による情報提供

毎月発行している広報誌「MIYAZAKI TRUCK NOW」の情報等をタイムリーに提供するため、会員のニーズの高い話題等の掲載や工夫を凝らした誌面作りに努めた。

協会活動等を広くPRし、運送業界への関心・応援の輪を拡大するため、発行部数を660部から700部に拡大した。

さらに、協会の広報パンフレットをリニューアル（10,000部）し、関係者等に配布した。

③ 広報イベント

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月9日「トラックの日」に合わせたフェスティバル等は開催しなかった。

一方、全ト協主催の生配信イベント「TRUCK FES2021」に参画するとともに、例年実施している献血活動やチャリティゴルフ等を開催した。

また、11月24日に宮崎県庁において、日本赤十字宮崎県支部（支部長：河野宮崎県知事）より、トラックの日（10月9日）に合わせた永年の献血活動に対し、県北支部が感謝状を授与された。

◇ 献血活動

	実施月日	実施場所	提供人数
本部	R3.10.19	宮崎県トラック協会	30名
県北支部	R3.10.10	イオン日向店	28名
都城支部	R3.12.3	宮崎県トラック協会都城支部、松尾運送	38名



献血活動（県ト協）



日本赤十字宮崎県支部の感謝状授与

◇ チャリティゴルフ

開催日：令和3年9月29日(水) 開催場所：みやぎきカントリークラブ

参加人数：82名 義援金額：322,000円

寄付先：県交通安全対策推進本部、公益社団法人交通遺児等育成基金

④ 「宮崎県のおしごと本」の発行・配布

10年先の地域ビジョンを踏まえ、地域の未来の担い手となる県内の全小学5年生をターゲットに、「地域で暮らす」「地域に戻る」「地域を豊かにする」という選択をしてくれる子供が増えることを目指し、県内企業で活躍している様々な業種・仕事の紹介をする「宮崎県のおしごと本」にトラックドライバーの仕事を掲載した。

◇ 発行部数 : 15,000部（11,000部は小学5年生全員に配布）

◇ 配布先 : 県内の小学5年生、教育関連施設、県内図書館

⑤ シトラスリボンプロジェクトへの参画

シトラスリボンプロジェクトに賛同し、差別を無くすことへの理解醸成や啓発活動を積極的に展開してきているが、令和3年6月29日に宮崎県庁にて、当協会の新型コロナウイルスに関する差別や偏見を無くす同活動の功績が認められ、「人権が尊重される社会づくり推進賞」が宮崎県人権啓発推進協議会（会長 河野宮崎県知事）より授与された。

◇ 啓発用缶バッジの作製・配布

缶バッジ（500個）を県をはじめ各関係機関・団体等に配布するとともに、シトラスリボンのラッピングトラックを市中走行し、県民への普及広報活動を行った。



宮崎県人権啓発推進協議会（会長 河野宮崎県知事）より「人権が尊重される社会づくり推進賞」を授与

(10) 負担金事業

① 全日本トラック協会への出捐

県から交付を受けた運輸事業振興助成補助金の23%を、運輸事業の振興の助成に関する法律及び法令に基づき、（公社）全日本トラック協会へ出捐した。

◇ 出捐額 35,662,650円

6 研修施設の賃貸事業及び記録簿等の販売 <収益事業>

(1) 研修施設及び機器の貸出し

当協会総合研修会館の会議室やプロジェクター等を会員事業者や関係機関へ貸出しを行った。

◇ 会議室・機器貸出し

総合研修会館 会議室 延べ 176回 収入額：4,780,780円

(2) 協会所有施設の賃貸

施設名	賃 貸 先	収 入 額
総合研修会館	宮崎県貨物自動車運送適正化事業実施機関	月額 559,068円
	陸上貨物運送事業労働災害防止協会宮崎県支部	月額 141,169円
	南九州交通共済協同組合宮崎県事務所	月額 284,345円
	独立行政法人自動車事故対策機構宮崎支所	月額 489,288円
県北輸送サービスセンター	宮崎県県北ダンプ運送事業協同組合	月額 22,000円
合 計		17,950,440円

(3) 物品販売

法令で義務付けられている運転日報、点呼記録簿を販売した。

◇販売件数

件 数	収 入 額
約382	1,436,140円

飲料メーカー2社との契約に基づき自動販売機を設置し、設置手数料の一部を日本赤十字宮崎県支部に支援金として贈呈する契約を締結した。

更に、会員事業所に設置してある自動販売機に対しても同様に協力要請し、支援事業所の拡大を図った。

手数料収入額	支 援 金
105,059円	8,447円

※ 当協会分のみ計上

7 福利厚生・表彰事業 <その他事業>

(1) 福利厚生事業

会員事業者のドライバーを含めた従業員が心身のリフレッシュを図り、労災事故の防止、健康増進による消費者・荷主への安定したサービスの維持・向上のため、福利厚生（ボーリング大会等）に対して助成したが、コロナ禍で中止した行事が多かった。

対 象	対 象 事 業
都城支部	・第17回都城支部親睦ボウリング大会

(2) 表彰事業

令和3年度における表彰受賞者は次のとおり。（順不同、敬称略）

① 全日本トラック協会優秀運転者顕章（61名）

部 門	会 社 名	受 賞 者 氏 名
金 章 (14名)	(株)戸高物流	阿比留彰七郎
	(有)王生工業	東 義貴 尾前 勝彦 藤元 勝浩
	草水運送(株)	甲斐 祐基 年神 祥輝
	南九州福山通運(株)	吉田 健二 中田 耕司 坂元 太

部 門	会 社 名	受 賞 者 氏 名
金 章 (14名)	南九州福山通運(株)	平田 伸一 山崎 智弘 宮永 豊昭 平山 一弘
	本田運送(株)	矢島 康弘
銀 章 (47名)	(株)戸高物流	甲斐 恵三 齋藤 吉弘 落合 由郎
	(株)戸高物流	中野 正 中村 順 谷口 雅典
	(有)ケイ・エム・エクスプレス	外山 実 橋山 雅
	(有)日輪運輸	太鼓 洋一 緒方 正史
	合同会社ティープラス	原田 雄一 西岡 正治
	新日本ロジ(株)	細谷地昌之 宮田 篤巳 井上 吉文 黒木 竜二
	草水運送(株)	水窪 一也 宮里 秋良 今園奈穂子 中野 進一
	南九州福山通運(株)	新本 嶺 柴田 浩 土井若三朗 甲斐 龍男 曳田 清孝 岩佐 成喜 宮本 重行 増田 宏行 安藤 秀樹 酒井 勇喜 平原 虹貴 長崎 一樹 岩切康太郎 串間 宗正 鳥丸 敏樹 二宮 豊 永田 和広 池尻 真也 野中 神吾 本部 圭一 内野宮昌司 金丸 周平 井上 裕司 松山 誠 今村 睦夫
	本田運送(株)	川崎 稔 谷本 聖子

② 全日本トラック協会表彰規程に基づく表彰（4名）

会 社 名	受 賞 者 氏 名
(株)博運社	貴島 武 孝橋一九夫 釘崎 隆 富安 隆美

③ 全日本トラック協会「正しい運転・明るい輸送運動」表彰（2名、1社）

部 門	会 社 名	受 賞 者 氏 名
従 業 員	(株)ニヤクコーポレーション九州支店	原田 昌弘
	本田運送(株)	都甲 勉
事 業 所	(有)コア物流	

④ 宮崎県トラック協会会長表彰（43名）

<運転者部門> 36名

会 社 名	受 賞 者 氏 名
(株)霧島商事	今村 政広 中嶋 徳彦
(株)マキタ運輸	下西 博幸
(株)マキタエクスプレス	大崎 一朗
(有)丸松運輸	村中 初男
センコー(株)東九州車輛支店	重黒木芳明 笠江 弘行 橋倉 卓也
(有)山下商事	河野 裕樹 松田 明広
(株)ランテック南九州支店	酒匂 修 山崎 治幸
(株)桐原商事	二見 和彦

会 社 名	受 賞 者 氏 名
(株)博運社都城営業所	末原 忠満 兒玉 勇一 松山 秀規 立山 眞一 釘崎 隆 富安 隆美 貴島 武 孝橋一九夫 松本 孝一
(有)日輪運輸	金丸 誠
(有)三協運輸	松本 浩文 那須益千代 深草 巖 中島 澄男 田口 盛一 宇都 一明
丸善運輸(株)宮崎営業所	濱砂 慎也
日豊輸送(株)	大澤 明德 板東 昭夫 森田 昌智 吉岡 靖臣 富永 和美
草水運送(株)	中野 進一

<従業員部門> 7名

会 社 名	受 賞 者 氏 名
(株)マキタ運輸	宮前 和弘 寺岡友一朗
センコー(株)東九州車輛支店	須田多恵子
(有)三協運輸	白濱 広行
日豊輸送(株)	西山 康史 牧野信太郎
(株)谷口組	井手 涼介

⑤ 宮崎県トラック協会 無事故事業所表彰 (順不同 47事業所)

会 社 名	事業所名	会 社 名	事業所名
上坂産業(株)	本社営業所	(有)ケイ・エム・エクスプレス	本社営業所
ニチモウロジスティクス(株)	都城営業所	(有)ケイ・エム・エクスプレス	宮崎営業所
(有)カードックサービス	本社営業所	草水運送(株)	本社営業所
(有)ケーライン	本社営業所	加藤産業(株)	本社営業所
新日本ロジ(株)	日向営業所	八興運輸(株)	本社営業所
(株)宮崎ジャパンエクスプレス	本業所社営	南九州センコー(株)	えびの営業所
(有)荒木運輸	本社営業所	(株)霧島商事	本社営業所
(有)太陽工業運輸	本社営業所	(株)戸高物流	田野営業所
センコー(株)東九州車輛支店	延岡車輛営業所	合同会社ティープラス	本社営業所
日向運輸(株)	本社営業所	日向商運(株)	本社営業所
(有)太田運送	本社営業所	宮崎県南部酪農業協同組合	本店営業所
(株)谷口重機建設	本社営業所	(株)中央運送	本社営業所
(株)戸高物流	本社営業所	(株)マキタ運輸	宮崎営業所
泉海商運(株)	宮崎営業所	(株)マキタエクスプレス	本社営業所
日豊輸送(株)	本社営業所	元明運送(有)	本社営業所
日向運輸(株)	高鍋営業書	龍南運送(株)	宮崎営業所
(株)ナカエ商事	宮崎支店	(有)三協運輸	本社営業所
(有)小林運送	本社営業所	(株)ニヤコーポレーション九州支店	宮崎事業所
都城ダイキュー運輸(株)	本社営業所	(株)J A物流みやざき	霧島営業所
(株)山下砂利	本社営業所	(有)丸松運輸	本社営業所
(有)日輪運輸	本社営業所	(有)山下商事	本社営業所
(株)マキタ運輸	本社営業所	宮崎トヨタ合同輸送(株)	本社営業所
(株)博運社	宮崎営業所	(株)俵商事	本社営業所
(有)川崎流通センター	本社営業所		